

## 常任理事会だより

### 山川智之

本稿では、前号で報告後、平成29年3月24日、4月21日、5月20日、6月23日に開催された計4回の常任理事会の内容のうち主なものをお伝えするとともに、日本透析医会の主な活動についてご報告します。

#### 1. 通常総会の開催および役員交代、役職の変更について

5月21日、日本透析医会通常総会が開催されました。今年も研修セミナーと同時開催とさせていただきますが、多数のご出席をいただきありがとうございました。

総会の日をもって役員任期（2年）が満了になりました。それに伴い、秋澤会長はじめ20名の先生が重任され、甲田豊先生、安藤亮一先生、今田直樹先生、加藤明彦先生、亀川隆久先生、久木山厚子先生、佐藤壽伸先生、鈴木都美雄先生、百武宏幸先生が理事に加わりました。また鈴木正司副会長、相澤孝夫理事、上山達典理事、清瀬隆理事、指出昌秀理事、新里健理事が退任となりました。長らく医会の運営にご尽力いただきありがとうございました。総会後に理事会が開催され、鈴木副会長の後任には専務理事であった篠田俊雄先生が就任、専務理事には宍戸寛治先生が就任、また甲田豊先生が新たに常務理事に就任しました。なお、役員名簿につきましては、当会ホームページに掲載しております。

今回、大きく役員構成が変わりましたが、これまで以上に役員が力を合わせて透析医療が直面する課題に取り組んでいく所存です。皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

#### 2. 2018年診療報酬改定への対応について

2018年の診療報酬改定は、介護報酬との同時改定となり、医療と介護の大幅な一体改革がなされることが想定されていますが、一方で透析医療が今回の改定で狙い撃ちされるのではないかと、とかなり信憑性の高い情報が伝わってきました。これらも踏まえ4月24日に厚生労働省保険局医療課を訪問、質を担保しない乱暴な診療報酬削減は、悪貨が良貨を駆逐することになりかねないことなどを説明、専門家の関与の必要性を訴えました。今後も日本透析医学会など関係各団体との連携を図りながら、透析医療全体の質を維持するべきという観点で、様々な形で努力していく所存です。

### 3. 第22回透析保険審査委員懇談会について

日本透析医学会学術集会の期間中の6月16日に、横浜におきまして全国の透析関連の保険審査委員、支部長の先生などにご出席いただき第22回透析保険審査委員懇談会が開催され、長時間にわたり活発な議論が行われました。例年お忙しいところご出席いただいた先生方には御礼申し上げます。詳細につきましては12月発刊予定の日本透析医会雑誌32巻3号でご報告の予定です。

### 4. 第18回災害時情報ネットワーク会議について

日本透析医学会学術集会開催期間中の6月16日に、横浜におきまして第18回災害時情報ネットワーク会議を開催しました。特別講演には東北大学の宮崎真理子先生に「災害対策：コミュニケーションと受援計画を中心に」というテーマでお話頂きました。また各地域の災害対策関係者に多数出席いただき、今年も活発な議論が行われました。ご多忙中参加していただきました先生方には厚く御礼申し上げます。会議の内容については、12月発刊予定の日本透析医会雑誌32巻3号でご報告させていただきます。

### 5. 日本透析医会創立30周年記念講演会・日本透析医会研修セミナーについて

例年地方で開催しておりました今秋の研修セミナーはなく、日本透析医会創立30周年記念講演会を10月21日（土）に開催予定となっております。以後、研修セミナーについては、2018年5月20日（日）に総会と東京で同時開催、2018年秋は仙台での開催を予定しております。